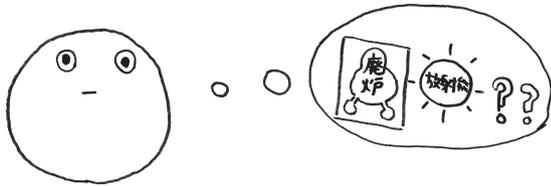




令和元年6月3日(月)

おもて

地元にも廃炉についての
 情報が伝わっていないのでは



廃炉について、テレビや新聞などの
 メディアで報じられているが専門用語
 が多く、使われていて伝わりづらい。
 福島県民でも詳しく知っている人は
 少ないのではないかと。

うら

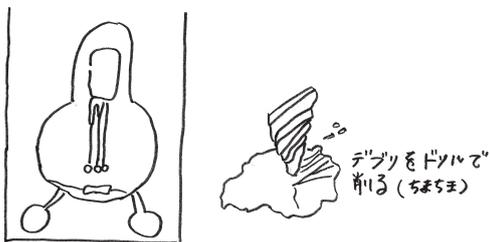
震災があったから原発について
 メディアで取り上げられていたが、今後も
 情報を知らなければいけない。

- (1) 興味の無い人に興味をもってもらう
 - ・ゴールデンタイム中のCM(ドラえもん)
 - ・ニュース番組で廃炉に関しての小さい
 コーナーを設けてもらう。
 (お天気コーナー的なもの)
- (2) 興味をもった人向けにもっと詳しく
 知ってもらう
 - ・廃炉に関しての小さいコーナーを
 設けてもらう。
 - ・難しい専門用語などを減らし
 理解しやすい表現を使う。

廃炉について興味をもってもらう、
 さらに詳しく理解してもらう工夫が大切。

おもて

なんでそんなに廃炉に
 時間がかかるのか?



本当に30年で作業は終了
 するのか?

うら

現在の進行状況と
 廃炉の進め方は?

<進行状況>

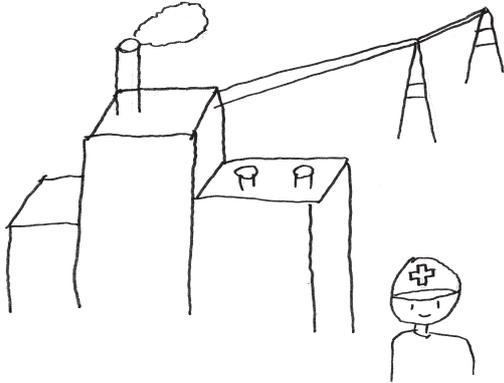
・燃料デブリ取り出し開始までの
 期間だけど、少し遅れてる。

<廃炉の進め方>

- ① 放射性物質をきれいにしている。
 ※燃料デブリを慎重に5555
 取り出しているから時間がかかる
- ② 建物の解体
 時間がかかるのを理解した。
 安全に廃炉するのだから時間がかかっても
 仕方がない。

おもて

原発付近の住民や作業員の安全性
は保たれているの？



作業員の人ほどのくらい被曝しているのか
原発の近くに住む人の安全や農作物の
被害はできるのか

うら

◎作業員の人ほどのくらい被曝しているか。
◎原発の近くに住む人は本当に安全に住むことが
できるか。

96%のエリアが軽装で作業できている
事故当時はズラン管理があったかもしれない。でも、
現在はきちんと管理されていて安全に作業をしている。
原発がなくても年間2ミリシーベルトとあびている。
福島県産の食品及び飲料水は全て基準値内に
収まっている。そのため安全と言える。

事故当時除染作業により放射線量が低く、
作業員や住民の安全は守られている。



